

台湾、沖縄、...
分断と孤立のアジア
をつなぎ直す

<第二部>
シンポジウム



2月3日(月)

午後2時～6時(開場午後1時半)

松永正義 (一橋大学名誉教授)

台湾の民主化運動と1970年代

鄭鴻生 (作家)

東アジア共同体の新たな
ベクトルの再検討
—1970年代台湾の二つの
思想変動を糸口として

仲里効(評論家)

海のノモスと島の想念

通訳:橋本恭子(一橋大学言語社会研究科博士研究員)

会場:

一橋大学(東キャンパス)

国際研究館4階 大教室

(JR中央線国立駅下車徒歩6分)

<第一部>

2月2日(日)

午後2時～6時(開場午後1時半)

鄭鴻生『台湾68年
世代、戒厳令下の
青春』(作品社)
出版記念書評会

スピーカー:

鄭鴻生(著者)

仲里効(評論家)

浅井基文(元外交官、政治学者)



通訳:丸川哲史(明治大学)

会場:

明治大学(和泉キャンパス)

リエゾン棟2階 会議室

(京王線明大前駅下車5分)

主催:

亞洲現代思想
Modern Asian Thought
(通称:MAT)

協力:

明治大学教養デザイン
研究科丸川ゼミ

+

作品社